

砒素・As

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な呼吸器保護具（保護マスク）、適切な保護手袋（化学防護手袋）、適切な眼の保護具（側板付き保護眼鏡、ゴーグル型、全面保護眼鏡）、適切な保護衣（長袖作業衣）を着用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲み込んだ場合…口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。 ○ 眼に入った場合…水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断、手当を受けること。 ○ 皮膚に付着した場合…水と石鹸で洗うこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。 ○ 眼に入った場合…気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ○ 装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。 ○ 使用前に使用説明書を入力すること。 ○ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ○ この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。 ○ 取り扱い後にはよく手を洗うこと。 ○ 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 ○ 環境に放出しないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲み込むと有害 ○ 強い眼刺激 ○ 発がんのおそれ ○ 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い ○ 臓器（消化器系、循環器系、神経系、血液系、呼吸器、皮膚、腎臓、肝臓）の障害 ○ 長期にわたるまたは反復ばく露による臓器（消化器系、循環器系、神経系、腎臓、肝臓、血液系、呼吸器系、皮膚）の障害 ○ 長期的影響により水生生物に有害のおそれ